

## 家庭教育力の強化を図る

# 家庭・地域・学校との連携を深めるPTA活動

知多市立旭南小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、知多半島の北西部にある知多市の南端に位置している。明治7年に創立し、令和5年に150周年を迎えた伝統校である。校区は、昔からの地域住民が多く住む羽根・北粕谷と、新しく地域に転入してきた住民の多い新舞子南・大草・新舞子台の5地区からなっており、住民の融和がうまく図られている。学校周辺は田園地帯が広がり、緑の多い自然に恵まれた環境であり、学校はその中心に位置する。また、昭和47年以来、50年以上にわたり続けているFBC活動（フラワー・ブラボー・コンクール）を中心に、花づくりを通して心豊かな子どもを育てることに力を注いでいる。学校規模は、児童数337名、学級数15学級（通常学級12、特別支援学級3）、PTA会員数248人である。『心の中に 笑顔いっぱい 花いっぱい』をキャッチフレーズとして掲げ、家庭・地域・学校が連携して教育活動を進めている。



【旭南小学校校舎】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校の地区は、地域のつながりが深く、PTA活動も地域の組織と連携しながら活動を続けてきた。しかし、様々な活動が制限されたコロナ禍を経て、PTA活動の在り方について、全てをコロナ禍前に戻すのではなく、新たな形を模索しながら取組を進めている。また、共働き家庭の増加など、家庭形態の移り変わりもあり、PTA活動に多くの時間をかけることも難しくなっている。そこで、家庭・地域・学校が連携した取組を通して、家庭教育力の強化を図り、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考え、実践に取り組むこととした。

#### (2) PTA組織と活動内容

本校のPTA役員・委員は、羽根・北粕谷・新舞子南・大草・新舞子台の5支部から選出された計13名で構成されている。会長・副会長・家庭教育委員を除く10名は、保健生活部会、広報部会、美化部会のいずれかに所属している。保健生活部会は交通安全教室や学校保健委員会への参加、広報部会はPTA新聞の企画・発行、美化部会は地域花壇の

運営の補助を行っている。また、それぞれの支部役員として、朝の交通立哨の計画・実施や地域花壇の整備など、支部ごとの地域の組織とも連携しながら活動している。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 交通安全教室

年度当初の4月、1・2年生を対象に、安全な歩行の仕方や横断歩道の渡り方の訓練を通して、交通安全意識を高めることを目的として、交通安全教室（歩行訓練）を実施した。実際に、校区内の歩道を1・2年生がペアとなって歩行し、横断歩道や交差点での手上げ横断等を行った。交差点には、PTAの保健生活部会の部員に加え、警察署員、交通指導員、教職員が立哨を行い、子どもたちが安全に歩行・横断ができるよう見守ったり、助言をしたりした。2年生の児童は1年生の児童を気遣う姿が、1年生の児童は安心して訓練に参加する姿が見られ、温かな雰囲気の中で、交通安全意識を高めることができた。参加したPTAの部員も、家庭で子どもと交通安全について話題にするきっかけを得たり、地域や学校と協力して子どもの成長を支援することの大切さを再確認したりすることに繋がった。



【交通安全教室の様子】

#### (2) 学校保健委員会

7月に、4年生～6年生を対象に、メディアとのつきあい方を自らコントロールし、目に良い生活習慣の定着化を図ることを目的として、学校保健委員会を実施した。PTAの保健生活部会の部員も参加し、子どもたちが事前に各クラスで協議した内容を発表した後、講師の学校医から、姿勢と視力や背骨の成長、スマホネックなどに関するアドバイスをもらった。会の最後には、参加したPTAの部員が保護者の視点で、家庭でできるメディアコントロールの大切さなどについて、子どもたちに話をした。事後に「メディアコントロールの大切さと、規則正しい生活習慣の大切さをていねいに教えていただきとても参考になりました。今後も気をつけたいです」と感想を書いた児童も多く、今後の生活について見直す効果的な会となった。また、参加したPTAの部員にとっても、家庭でのメディアコントロールについて考え、子どもと話題にすることに繋がる会となった。



【学校保健委員会の様子】

### (3) 読み聞かせ・読書集会

P T A会員や、O G・O Bが組織する「ぶどうの会」の会員が、毎週水曜日の朝に読み聞かせを行っている。子どもの発達段階に応じて本を選定し、朝の会が始まる前の10分程度の時間を活用して実施しており、子どもたちも、この時間を楽しみにしている。

また、年3回、対象を1・2年生、3・4年生、5・6年生として、読書集会を開催している。2学年をホールに集め、複数のぶどうの会の会員が役割分担をして、臨場感あふれる読み聞かせを行っている。5・6年生を対象とする会では、別室に「夢」をテーマとした本を100冊程度準備し、子どもたちが新たな本に出会う機会をつくっている。この活動は、子どもたちの本に親しむ心を育んだり、子どもたちが自分の世界を広げたりすることに大きく貢献している。



【読書集会の様子】

### (4) 登校時の旗当番

登校時、交通量の多い交差点を中心に、P T A会員が地域の方とともに交通安全の見守りを行っている。P T A各支部の支部長・副支部長を中心に計画を立て、会員で分担をして立哨している。交通安全の視点だけでなく、子どもたちに挨拶などの声かけを行い、子どもたちが安心して登校することができるよう支援している。P T Aと地域が連携して、子どもたちの安心・安全な学校生活に繋がる取組となっている。



【登校時の旗当番の様子】

### (5) あいさつ運動

本校のP T Aの各支部長は、子ども会の役員や主任児童委員とともに、コミュニティの青少年育成部会に所属している。その部会の取組として、2学期始め、3学期始めに、P T A会長が中心となって計画を立て、校門付近であいさつ運動を行っている。子どもたちと爽やかな挨拶を交わすことにより、子どもたちが2学期、3学期を気持ちよくスタート



【あいさつ運動の様子】

できるよう働きかけている。P T Aが地域の組織と関わり、子どもたちを支える取組の一つとなっている。

#### (6) スポーツフェスティバルの片付け支援

本校では、5月にスポーツフェスティバルを実施している。今年度から、大人の力を多く必要とするテントの片付けを、参観したP T A会員と地域の方で協力して行った。スポーツフェスティバル終了後に放送で呼びかけたところ、20名程度の協力者を得た。協力したP T A会員や地域の方は、笑顔で片付けを行い、子どもの活動を支えることに繋がった。学校・地域と連携したボランティアによるP T A活動の在り方として、今後も継続していきたいと考えている。



【片付けを終えて】

#### (7) 夏季休業中の学校花壇の水やり

本校は、F B C活動（フラワー・ブラボー・コンクール）とも関連して、学校花壇で多くの花を育てている。3年前から、夏季休業中の土曜日・日曜日と学校閉校期間中は、P T A会員が水やりを行っている。毎年、30世帯程度の会員が、ボランティア募集の呼びかけに応え、協力をしている。平日には教職員が水やりを行い、学校と家庭が協力して、子どもたちのために環境整備に取り組んでいる。また、子どもとともに水やりをする会員も多く、子どもとの会話を楽しみながら、一緒に活動する機会にもなっている。さらに、前述したスポーツフェスティバルの片付け支援とともに、ボランティアによるP T A活動の一つとなっている。



【水やりの様子】

## 4 おわりに

今回の研究を通して、実施しているP T A活動が、子どもたちの学校生活を支えながら、家庭での健康や安全について考えたり、子どもと触れ合ったりする機会となり、家庭教育力を強化するきっかけとなっていることを確認することができた。また、ボランティアによるP T A活動は、今後のP T A活動の在り方の一つとして、有効な形であることも実感できた。今後も、家庭・地域・学校との連携を深め、持続可能なP T A活動となるよう取組を継続していきたい。